

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

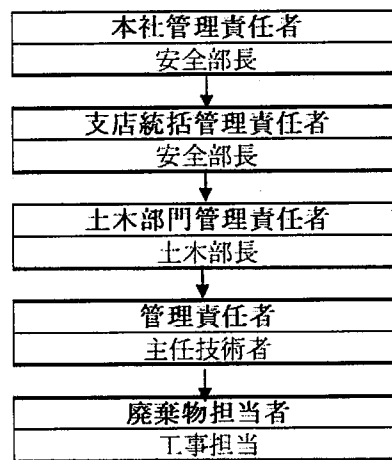
産業廃棄物処理計画書	
令和7年 7月 25日	
千葉市長	殿
	提出者 〒260-0017
	住 所 千葉市中央区要町1-29 (JR千葉現業ビル2F)
	氏 名 株式会社 交通建設 千葉支店
	執行役員 千葉支店長 栗田 穰
	電話番号 043-207-5761
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 交通建設 千葉支店 千葉土木工事所
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区要町1-29 (JR千葉現業ビル2F)
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：土木小事業 小分類：鉄道軌道建設工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 2,540百万円
③ 従業員数	24人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 (処理工程)

土木工事	横断管路新設		
	橋脚根固工新設	汚泥	再生処理業に委託して、選別し再資源化・埋立
	二線橋側壁修繕		
	乗降場舗装修繕	廃プラスチック類	再生処理業に委託して、再資源化・埋立
	乗降場笠石修繕		
	警告ブロック改良	木くず	再生処理業に委託して、再資源化
	二線橋修繕工事		
	高欄改良工事	金属くず	再生処理業に委託して、再資源化
	桁補修工事		
	さくがき新設	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
	排水こう新設		
	のり面工修繕		
	作業用通路修繕	コンクリートがら	再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
	排水とい修繕		
	伏び改良工事	アスファルト・コンクリートがら	再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
	ホーム桁改良		
	耐震補強工事	がれき類	再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
	旅客通路修繕		
	伏び調査	安定型混合廃棄物	再生処理業に委託して、混合し再資源化・埋立
	土留壁工事		
	排水溝浚渫	管理型混合廃棄物	再生処理業に委託して、混合し再資源化・埋立
	のり面工新設		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 施工方法の改善を行うことで搬出量の削減を実施している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 施工方法の見直しを継続する事で廃棄物の搬出抑制を行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ、金属くず等はコンテナ等を設置し他の混合しない様に保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と変わらない分別を行う

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社では再生利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社では中間処理は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社で埋立、海洋処分は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に則り業者の選定及び書面による契約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定業者から委託先を選定 再生利用、熱処理が可能な廃棄物については再利用業者、熱回収業者へ処理を委託する 委託処理業者には定期的に現地確認を実施		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	14.875 t	0.6 t	31.74 t	10.222 t	4.2 t	689.2 t	165.984 t	56.74 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	13.3875 t	0.54 t	28.566 t	9.1998 t	3.78 t	551.36 t	149.3856 t	51.066 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	14.875 t	0.6 t	31.74 t	10.222 t	4.2 t	689.2 t	165.984 t	56.74 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.875 t	0.6 t	31.74 t	10.222 t	4.2 t	689.2 t	165.984 t	56.74 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙屑	木くず	金属くず	ガラス陶磁器	その他がれき類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	排 出 量	1.94 t	7.002 t	15 t	74.4 t	0.034 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	排 出 量	1.552 t	5.6016 t	12 t	59.52 t	0.0272 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	全処理委託量	1.94 t	7.002 t	15 t	74.4 t	0.034 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.94 t	7.002 t	15 t	74.4 t	0.034 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	混合（安定型）	混合（管理型）	がれき類（石綿含む）	建設汚泥	廃酸			
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t